１学期の子供の育ちと伸びしろ

加茂市立須田小学校

4.6(金)　始まり始まり
須田小入学式

4.19(木)　笑顔でぺこり
交通安全教室

4.21(土)　フル出場！
一年生を迎える会

5.11(金)　はじめて？
５年生田植え体験

5.12(土)　創る！
育友会環境整備作業

5.23(水)　【旧暦】
加茂軍議給食

5.26(土)　熱中！
創立１４６周年運動会

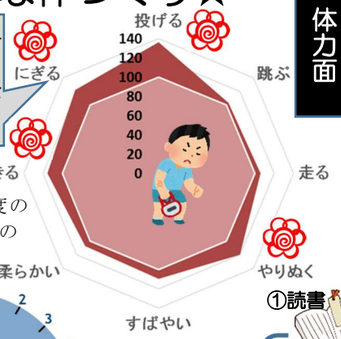
6.5(火)
1,2 年生加茂山探検

6.12(火)13(水)戊辰150年６年生修学旅行

★健やかな体づくり★

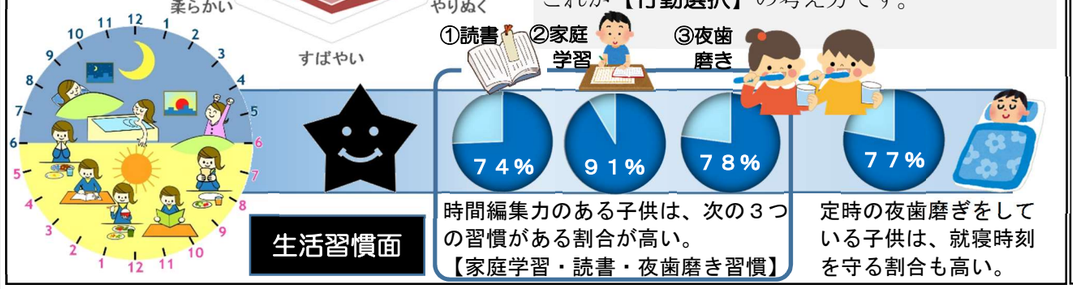
体力面

握力を体力向上の土台と捉え、日常的な取組をしてきました。



同一児童の体力得点を前年度のものと比較したもの

★上手に時間を使う力（時間編集力）は、次の３つの習慣との関連性が見られます。
①読書の習慣　②家庭学習の習慣
③夜の決まった時刻の歯磨き習慣
さらに、夜歯磨きは就寝時刻にも関連が見られました。
須田小では、発想を転換し、具体的な行動（上の①②③）を、**家庭生活の隙間の時間に割り当て**ることで、生活習慣の改善を進めています。
これが**【行動選択】**の考え方です。



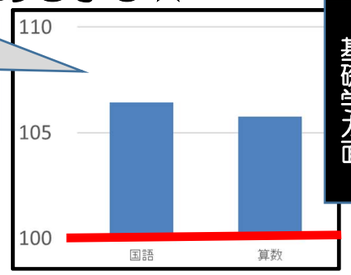
時間編集力のある子供は、次の３つの習慣がある割合が高い。
【家庭学習・読書・夜歯磨き習慣】

定時の夜歯磨きをしている子供は、就寝時刻を守る割合も高い。

★対話のある学び★

基礎学力面

過去のＷｅｂ問題でのつまずきを、授業で活用してきました。



３年生以上の今学期３回分の正答率を、県と比較したもの
（県平均１００）

★学習の土台となる基礎学力は、県Ｗｅｂ配信問題の正答率を見る限り、県平均以上です。書かれている内容を別の言葉（具体例で、短い言葉で）や図表で置き換えて考え直す力は今後も指導が必要です。対話をする上で、相手の考えを整理しながら聞く上で、とても重要な力になるからです。

対話力面

★児童アンケートから２点が明らかになりました。
①ほとんどの子供たちが友達の考えに「笑顔や頷き」で返すなど、**共感的な雰囲気**が高まりつつあることです。
②上学年ほど、発言意欲が明らかに低下しています。両者を分ける要素として、**スキル不足**が浮かび上がりました。
・**発言する子どもの９割以上…対話スキルを活用**
・**発言しない子どもの６割以上…対話スキルの未活用**

自分の考えを発表する意欲を止めるもの（ボトルネック）は？

6.15(金)　地域を知る！
小中安全マップ確認

6.27(水)　川と付き合う
４年生社会科見学

7.10(火)　誕生！
「本の海」図書館

7.11(水)12(木)
第８回さすがだカップ

１学期
>授業日数；74 日
>授業時間；約 350 時間

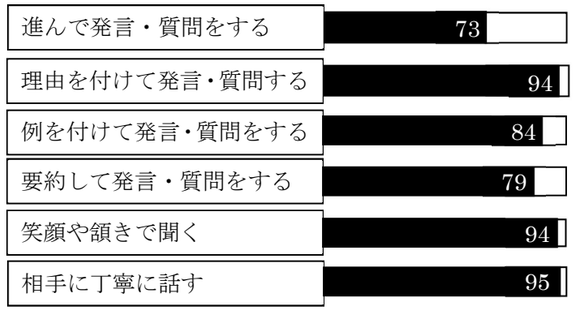
＝＝＝　学校評価（児童アンケート）結果　＝＝＝

◆グラフの黒の部分は、肯定的評価の全校児童に占める割合を示す。(H30.7 実施)

＜健やかな体づくり＞

＜求める須田っ子の姿＞

＜対話のある学び＞



【備考】※１「さすがだ」；自分のよさを他の人にも生かすこと　※２「笑顔でぺこり」；心に余裕と感謝の気持ちで道路を渡ること

自己肯定感と郷土愛

主な教育活動の写真を上に並べてみました。生活科や総合学習での「ふるさと学習」を特に取り上げました。と言うのも、自分のよさを自覚していること（自己肯定感）と、自分の住む地域への愛着（郷土愛）とには非常に高い相関性が見られるからです。そのことが、思いやりや感謝の気持ちに通じると考えます。

子供の意識を掘り下げてみる

さて、本年度の重点は、「対話のある学び」と「健やかな体づくり」です。

それぞれに関わる取組に対する「子供の意識」は、左の結果となりました。あくまで子供目線の評価です。これに客観的な評価結果（体力テストやＷｅｂ配信問題結果）を加えました。

体力面や基礎学力面は全体的に高まりが見られます。個々の子供のつまずき等を精査し２学期以降の「次の一手」を取り組んでいきます。次号（９月中旬）で示していきます。

〈対話のある学び〉

児童アンケートの回答内容から、特徴的なことが浮かび上がってきました。それは、上の学年ほど子供が発言しなくなるのは、恥ずかしさ等からくる「ためらい」だけではないということです。どうも、自分や友達の考えを整理し関連付けるための道具（対話スキル）が身に付いているかどうかが大切であることを再確認しました。詳しくは、上の★の部分をお読みください。

〈健やかな体づくり〉

生活習慣については、「メディア時間を減らす」「早く寝る」などの指導内容を関連付け指導してきました。帰宅後から就寝するまでの時間を上手に使う力を付けるため、保健授業等で指導をしてきました。今回の調査から、子供が時間を上手に使えるか否かの「ツボ」は、意外でしょうが、「決まった時刻に夜歯磨きをする」ことでした。詳しくは、左上の★の部分をご覧ください。

（学校評価委員会）